

合同竣工式典を開催

長浜市 福祉・子育て支援の拠点に



右から松居社長・前田理事長・吉持理事長・坂井所長・松岡社長

今浜の郷・レイモンド長浜南こども園

長浜市の高橋町と下坂中町で建設工事が進められてきた特別養護老人ホーム「今浜の郷」と、「レイモンド長浜南こども園」がこのほど完成し、今月19日に晴れの合同竣工式典が盛大に開催された。

社会福祉法人の近江幸楽会(吉持和昭理事長・長浜市下坂中町200-1)が「今浜の郷」を、社会福祉法人の檸檬会

(前田効多郎理事長・和歌山県紀の川市古和田268-1)が「レイモンド長浜南こども園」を、それぞれ道路を挟んで連接する土地に建設した。異なる両施設は、立地を生かしながら共に共生と協働を図り、高齢者と園児のふれあいを日々の生活の中で実践し、より一層に地域

環境の充実に努めていく。両施設の建設工事は、たちばな建設㈱(松岡義隆代表)と大栄テクノ㈱(松居宏純代表)がそれぞれ担当し、両施設ともに設計は坂井建築設計事務所(坂井久泰代表・長浜市)が担当した。

竣工式典には、長浜市の藤井勇治市長をはじめ、北川貢造教育長や衆参議院県議会・市議会の議員、地元自治会・地域福祉の関係者らが出席。神事の竣工祭、工事関係者への感謝状授与などが行われ、両施設の完成を祝うとともに、藤井市長の立会いのもと「調印式」が執り行われ、両法人及び両職員が高齢者と園児とのふれあいを通じて、更なる

発展と互いの理解と連携を深めていく協定を締結した。それぞれ、吉持理事長は「子供達と高齢者のふれあいの場として地域に必要とされ、皆さんに喜んで頂ける施設でありたい」、前田理事長は「両施設・両法人が手を携えて、この長浜の地で福祉を引っ張っていくという気持ちで頑張っていく」と抱負を語った。また、藤井市長からは、祝辞とともに「両施設が長浜市の南部地域における高齢者福祉と子育て支援の拠点として大きな役割を果たしてくれるものと多いに期待する」との言葉が贈られた。(3面に竣工広告)



吉持理事長(右)から感謝状を受ける松岡社長(左)



前田理事長(右)から感謝状を受ける松居社長(左)

守山市は、水道施設の安全性の確保を行うために、洲本町にある洲本配水場のあり方について検討を行い、既存施設の耐震化もしくは新設工事を行う方針だ。

洲本町620番地にある洲本配水場(旧・洲本水源)は、敷地面積6279平方メートルにRC造2階建、延641・9平方メートルの配水管理棟とPC造で容量2540立方メートルの配水池がある。管

理棟は昭和47年、配水池は平成6年に建設され老朽化が著しいことから、平成26年度から27年度にかけて耐震調査を実施したところ、軽度の地震等への対応力はあるものの、十分な耐力度を保持

していないとの判断から、配水場の既存施設の耐震化を図るか敷地内に新たな配水場を設置するかを検討する。現在のところ、新たな配水場を設置する方がランニングコスト等の観点から有

事業スケジュール等は、整備方針がまとまり次第決定していく考え。工事は30年度から2カ年程度で行われる可能性がある。市ではこの他、配水管耐震化改良事業として、ダクタイル鉄管等で避難所等への安全給水を確保するために、▽勝部吉身線(吉身工区他)配水管耐震化改良工事▽元町杉江線(守山工区他)配水管耐震化改良工事を行う。勝部吉身線は、施工延長4800メートル、DCIP(N S形)、φ500を予定し、

元町杉江線は、施工延長5400メートル、DCIP(GX形)、▽高野守山線(吉身1丁目工区)▽欲賀荒見線(荒身・小津工区)―計4カ所の整備を新年度から進め、更なる住みやすいまちづくりを推進していく。

耐震等あり方検討

工事は30年度から2カ年程想定

きょうの紙面

- ◆設候補地の公募結果を公表(2面)
- ◆特集・今浜の郷とレイモンド長浜南こども園が竣工(3面)
- ◆県内の建築確認申請と入札結果(5面)
- ◆彦根市で計画の特養ホーム「サニープレイス彦根」建設は、橋本建設で造成工事を開始(6面)

平成29年 4月・5月 講習日のご案内

資格の時代 安全のライセンス 資格を取って、安全運転。講習科目 コース 4月 5月